

注目集まる！中国、南アフリカ、 オーストラリアなどのレアメタル産出国

日本では4月から、3年間の時限措置として「低炭素車に対する取得税や重量税の減免措置(エコカー減税)」が実施されました。加えて、政府・与党が大枠で合意している追加経済対策の一つに、環境負荷の小さい自動車(エコカー)への買い替えに対する補助金制度が盛り込まれており、エコカーへの買い替え需要の押し上げ効果が期待されています。また、日本に限らず、世界各国でハイブリッド車や電気自動車などのエコカーへの買い替えを促進する優遇税制や補助金を導入する動きが出ていることは、ハイブリッド技術などで世界をリードする日本の自動車メーカーにとっては大きなチャンスとなりそうです。

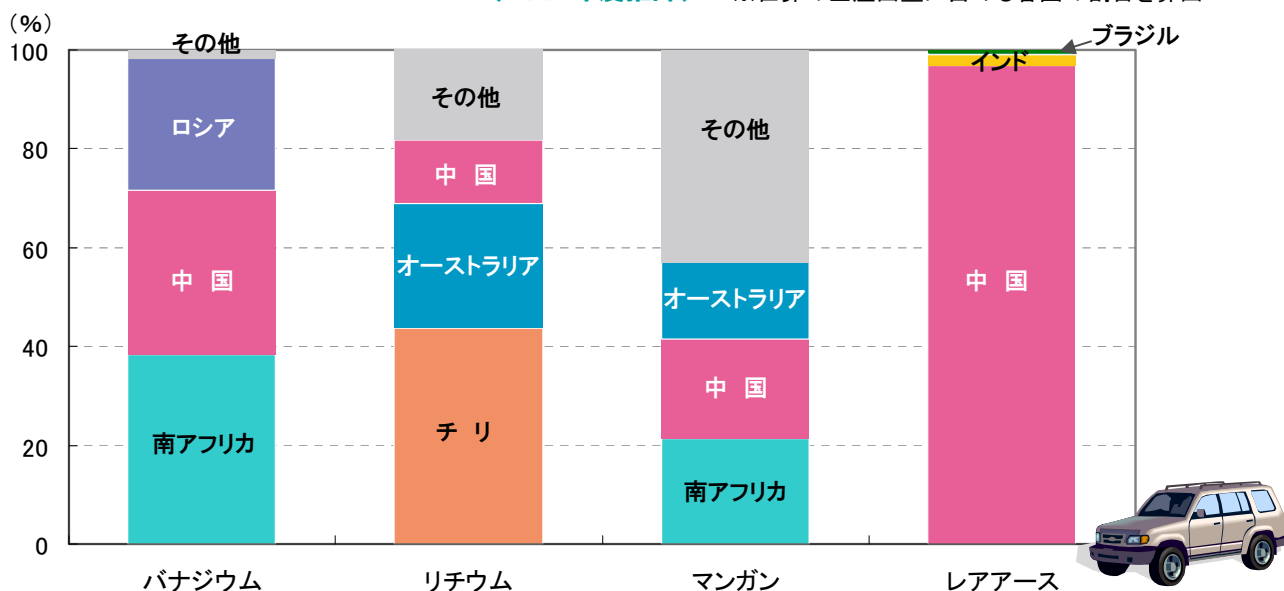
しかし、そのエコカーの生産に「レアメタル(希少金属)」が必要不可欠であることをご存知でしょうか？例えば、ハイブリッド自動車や燃料電池車に不可欠な高性能モーターには、主にレアアースが使われています。また、自動車の特殊鋼材の原料にはバナジウムやマンガンが、電気自動車用のニッケル水素電池やリチウムイオン電池などは白金、リチウムなどのレアメタルが使用されています。レアメタルとは、「地球上で埋蔵量が相対的に少ない金属やその抽出において純度を高めることが技術的・経済的な理由で非常に困難な金属類」を総称したものです。現在、レアメタルの生産量や埋蔵量は、中国、南アフリカ、オーストラリアなどの限られた国に偏在しており、レアメタルの国内資源に乏しい日本は大半を輸入に依存しています。

エコカーの普及とともに、レアメタルの存在感も増してくるものと思われます。

また、それと同時に、中国、南アフリカ、オーストラリアなどのレアメタル産出国にも注目が集まる可能性があります。

主なレアメタルの鉱石産出国

(2008年度推計) ※世界の全産出量に占める各国の割合を算出



※出所: U.S. Geological Survey, Mineral Commodity Summaries, 2009

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。